



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日 東

上場会社名 株式会社ジャムコ 上場取引所
 コード番号 7408 URL <http://www.jamco.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 善久
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役 副社長執行役員 (氏名) 大倉 敏治 (TEL) 0422-31-6114
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	66,396	22.2	7,062	34.7	7,221	8.3	4,491	△0.1
27年3月期第3四半期	54,323	24.2	5,242	110.5	6,668	119.1	4,494	154.2

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 4,576百万円(△12.4%) 27年3月期第3四半期 5,223百万円(148.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	167.43	—
27年3月期第3四半期	167.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	94,914	28,125	28.8
27年3月期	87,921	24,497	27.0

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 27,299百万円 27年3月期 23,733百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年11月30日に公表した「配当政策の変更及び配当予想の修正に関するお知らせ」で期末配当金予想を30円から40円に修正しました。

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,802	16.7	8,951	31.9	8,641	10.4	5,340	11.4	199.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	26,863,974株	27年3月期	26,863,974株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	38,635株	27年3月期	38,551株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	26,825,408株	27年3月期3Q	26,825,481株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、【添付資料】P.4「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、中国経済の減速や新興諸国における景気の後退懸念を抱えながらも、米国及び日本の景気回復基調に加えて、ユーロ圏でも穏やかながら景気回復が進むなど、世界経済は概ね堅調に推移しました。

航空輸送業界では、世界的な航空需要の増加と原油安が追い風となり、航空会社の業績は総じて改善が進みました。大手航空会社ではボーイング787型機やエアバスA350型機といった燃料効率の良い新型機種を導入を積極的に進めており、又、世界的なLCCの普及などにより、航空機メーカーの受注は小型機を中心に好調で、増産に向けた対応を進めています。

こうしたなか当社グループでは、航空機内装品等製造関連においては、旅客用座席(シート)の効率的な生産体制の構築に向けた新たな生産拠点の準備やギャレー、ラバトリーなどの787型機向け製品の増産対応を推進しました。航空機器等製造関連においては、熱交換器等の防衛関連部品の販売回復に努め、炭素繊維構造部材(ADP)及び民間航空機用エンジン部品の生産性の改善に取り組みました。航空機整備等関連においては、生産効率の向上に努めると共に、人員の適正配置を進めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高 66,396百万円(前年同四半期比 12,072百万円増)、営業利益 7,062百万円(前年同四半期比 1,819百万円増)、経常利益 7,221百万円(前年同四半期比 552百万円増)、親会社株主に帰属する四半期純利益 4,491百万円(前年同四半期比 2百万円減)となりました。

グループ全体の販売費及び一般管理費、営業外損益、特別損益の状況は次のとおりです。

販売費及び一般管理費は、業容拡大に伴う人件費や販売手数料、保証工事費等の経費の増加などにより 7,320百万円(前年同四半期比 1,226百万円増)となりました。

営業外損益は、為替差益の減少等により前年同四半期に対し 1,267百万円の減益となりました。

特別損益は、持分法適用関連会社の資本構成見直しに伴う投資有価証券売却却益や段階取得に係る差益などの特別利益を計上した前年同四半期に対し、402百万円の減益となりました。

既述のとおり、当第3四半期連結累計期間は売上高、営業利益、経常利益どれも前年同四半期に対して増加しましたが、特別損益が402百万円減益となった影響で、親会社株主に帰属する四半期純利益は僅かに減少しました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

[航空機内装品等製造関連]

当事業では、787型機向け製品の出荷増加、スペアパーツ販売の増加、為替相場が円安で推移したことによる外貨建売上高の増加などにより、前年同四半期に比べて売上高は大幅に増加しました。利益面については、スペアパーツ販売の増加や円安による増益などの押し上げ効果はあったものの、シート関連のコストが想定以上に増加したことなどにより、経常利益は前年同四半期に比べて微増となりました。

なお、当第3四半期末までにシートの販売が進みその工事に該当する引当金を充当したことなどから、工事損失引当金は第2四半期末に比べ減少しております。

この結果、航空機内装品等製造関連は、売上高 55,598百万円(前年同四半期比 10,417百万円増)、

経常利益6,848百万円(前年同四半期比 99百万円増)となりました。

[航空機器等製造関連]

当事業では、熱交換器等の防衛関連部品の販売回復と共に、ADP及び民間航空機エンジン部品等の販売も堅調に推移したことから、前年同四半期に比べ売上高、利益共に増加しました。

この結果、航空機器等製造関連は、売上高 4,867百万円(前年同四半期比 1,350百万円増)、経常利益 312百万円(前年同四半期は経常損失 258百万円)となりました。

[航空機整備等関連]

当事業では、機体整備において受注及び生産が堅調に推移したことから、前年同四半期に比べ売上高は増加しましたが、部品整備では採算性の厳しい品目が増加して利益率が低下したことから、経常利益は前年同四半期に比べ減少しました。

この結果、航空機整備等関連は、売上高 5,929百万円(前年同四半期比 304百万円増)、経常利益 61百万円(前年同四半期比 113百万円減)となりました。

[その他]

その他の区分には、連結子会社の(株)オレンジジャムコ及び(株)ジャムコテクニカルセンターの事業を含んでおり、いずれもセグメント間の内部取引が中心で、当初の予定どおり順調に事業を進めることができました。

この結果、その他の区分では、売上高 0百万円(前年同四半期比 0百万円増)、経常損失 0百万円(前年同四半期比は経常利益 3百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産・負債・純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は 94,914百万円となり、前連結会計年度末に比べ 6,993百万円増加しました。内、流動資産については、現金及び預金の増加(前期比 862百万円増)、仕掛品の増加(前期比 4,841百万円増)、原材料及び貯蔵品の増加(前期比 2,888百万円増)等により流動資産合計で前連結会計年度末に比べ 6,546百万円増加しました。又、固定資産については、工場改築及び施設設備の更新、生産設備の更新、工場用地・施設の取得、航空機内装品増産のための金型等の取得、業容拡大に伴う投資を進めたことにより固定資産合計で前連結会計年度末に比べ446百万円増加しました。

負債合計は 66,789百万円となり、前連結会計年度末に比べ 3,364百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加(前期比 635百万円増)、短期借入金の増加(前期比 1,221百万円増)、長期借入金の増加(前期比 1,742百万円増)等によるものです。

純資産合計は 28,125百万円となり、前連結会計年度末に比べ 3,628百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金の増加(前期比 3,552百万円増)等によるものです。この結果、自己資本比率は 28.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、平成27年11月5日に公表した平成28年3月期第2四半期決算短信における通期連結業績予想に対して、利益面の進捗率は想定を上回りました。これは、航空機内装品等製造関連におけるスペアパーツ販売が順調で、為替相場が引き続き円安基調で推移したことなどによるものです。又、第2四半期決算において主にシート関連の将来の損失工事に対して予め引当金を計上しましたが、当第3四半期決算ではシートの販売が進み、その工事に該当する引当金を充当したことなどから、第2四半期末に比べて工事損失引当金は減少しました。

平成28年3月期の通期連結業績見通しは、引き続きスペアパーツ販売の好調が予想されるものの、第4四半期末にかけての円高リスクなども考慮した結果、前提となる為替レートを1米ドル当たり120円とした直近の通期連結業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,050,112	3,912,675
受取手形及び売掛金	20,677,111	19,344,498
商品及び製品	1,057,875	381,694
仕掛品	19,188,415	24,029,913
原材料及び貯蔵品	17,138,642	20,026,814
その他	7,625,088	7,587,736
貸倒引当金	△4,753	△4,534
流動資産合計	68,732,492	75,278,799
固定資産		
有形固定資産	13,692,759	14,553,745
無形固定資産	1,217,153	1,128,385
投資その他の資産		
投資その他の資産	4,361,463	4,036,128
貸倒引当金	△81,970	△82,154
投資その他の資産合計	4,279,492	3,953,973
固定資産合計	19,189,406	19,636,103
資産合計	87,921,898	94,914,902
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,103,013	14,738,636
短期借入金	24,246,573	25,468,529
未払法人税等	2,364,663	1,221,420
賞与引当金	1,759,125	947,021
工事損失引当金	1,057,986	1,239,958
その他	9,422,727	11,215,693
流動負債合計	52,954,090	54,831,259
固定負債		
長期借入金	3,357,854	5,100,000
役員退職慰労引当金	221,920	141,642
執行役員退職慰労引当金	71,127	105,234
退職給付に係る負債	6,432,737	6,278,741
環境対策引当金	7,089	7,089
その他	379,311	325,151
固定負債合計	10,470,040	11,957,858
負債合計	63,424,130	66,789,117

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,359,893	5,359,893
資本剰余金	4,367,993	4,367,993
利益剰余金	13,453,776	17,006,238
自己株式	△30,070	△30,452
株主資本合計	23,151,592	26,703,672
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100,799	116,233
為替換算調整勘定	500,127	473,056
退職給付に係る調整累計額	△19,101	6,352
その他の包括利益累計額合計	581,826	595,643
非支配株主持分	764,349	826,468
純資産合計	24,497,768	28,125,784
負債純資産合計	87,921,898	94,914,902

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	54,323,473	66,396,001
売上原価	42,987,070	52,013,034
売上総利益	11,336,403	14,382,966
販売費及び一般管理費	6,093,770	7,320,655
営業利益	5,242,632	7,062,311
営業外収益		
受取利息	807	941
受取配当金	3,114	4,166
為替差益	1,474,471	266,086
持分法による投資利益	26,627	23,743
その他	148,070	95,118
営業外収益合計	1,653,092	390,056
営業外費用		
支払利息	187,983	202,466
その他	38,907	28,400
営業外費用合計	226,891	230,866
経常利益	6,668,834	7,221,500
特別利益		
投資有価証券売却益	137,615	-
固定資産売却益	55	1,799
段階取得に係る差益	259,210	-
特別利益合計	396,881	1,799
特別損失		
固定資産処分損	4,708	10,765
その他	-	1,522
特別損失合計	4,708	12,288
税金等調整前四半期純利益	7,061,007	7,211,011
法人税、住民税及び事業税	2,629,595	2,174,180
法人税等調整額	△103,983	464,386
法人税等合計	2,525,611	2,638,567
四半期純利益	4,535,395	4,572,444
非支配株主に帰属する四半期純利益	41,294	81,092
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,494,101	4,491,352

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	4,535,395	4,572,444
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46,538	15,434
為替換算調整勘定	636,951	△33,682
退職給付に係る調整額	41,547	25,453
持分法適用会社に対する持分相当額	△36,758	△3,103
その他の包括利益合計	688,279	4,102
四半期包括利益	5,223,675	4,576,546
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,080,454	4,505,168
非支配株主に係る四半期包括利益	143,220	71,378

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	航空機内装品 等製造関連	航空機器等 製造関連	航空機整備等 関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	45,180,742	3,517,538	5,625,170	54,323,451	21	54,323,473
セグメント間の内部売上高 又は振替高	136,350	45,979	239,626	421,956	93,618	515,575
計	45,317,092	3,563,518	5,864,797	54,745,408	93,640	54,839,048
セグメント利益又は損失(△)	6,748,406	△258,279	174,741	6,664,867	3,966	6,668,834

(注) 「その他」の区分には、関係会社の㈱オレンジジャムコ及び㈱ジャムコテクニカルセンターの事業を含んでおります。㈱オレンジジャムコは企業の社会的責任の一つである障がい者の雇用促進のための特例子会社であり、当社工場内の補助的作業を行っております。又、㈱ジャムコテクニカルセンターは新技術、新製品の研究開発を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	6,664,867
「その他」の区分の利益	3,966
四半期連結損益計算書の経常利益	6,668,834

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性がないため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	航空機内装品 等製造関連	航空機器等 製造関連	航空機整備等 関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	55,598,731	4,867,650	5,929,555	66,395,938	63	66,396,001
セグメント間の内部売上高 又は振替高	113,623	39,446	334,895	487,965	99,979	587,945
計	55,712,355	4,907,096	6,264,451	66,883,904	100,042	66,983,946
セグメント利益又は損失(△)	6,848,229	312,632	61,354	7,222,217	△716	7,221,500

(注) 「その他」の区分には、関係会社の(株)オレンジジャムコ及び(株)ジャムコテクニカルセンターの事業を含んでおります。(株)オレンジジャムコは企業の社会的責任の一つである障がい者の雇用促進のための特例子会社であり、当社工場内の補助的作業を行っております。又、(株)ジャムコテクニカルセンターは新技術、新製品の研究開発を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	7,222,217
「その他」の区分の損失(△)	△716
四半期連結損益計算書の経常利益	7,221,500

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性がないため、記載を省略しております。